

原料費調整制度に基づく2022年1月検針分ガス料金について

当社は、原料費調整制度に基づき2021年12月検針分の原料費調整単価を **89.7 円/m³ (税込)** とさせていただきます。

これにより2022年1月の平均的なガス使用量(10 m³/月)では2021年12月検針分のガス料金に比べて **316 円 (税込)** の値上げとなります。

●原料費調整内容 (基準料金表)

※下記料金は税込表記です

基本料金	従量料金		原料費調整単価
1,815 円	0 m ³ から 5 m ³ まで	539 円/m ³	89.7 円/m ³
	5 m ³ をこえて 20 m ³ まで	484 円/m ³	
	20 m ³ をこえて 30 m ³ まで	462 円/m ³	
	30 m ³ をこえて 40 m ³ まで	418 円/m ³	
	40 m ³ をこえる場合	374 円/m ³	

※アパート等賃貸住宅にて弊社負担の消費設備等をお客様に貸与している場合またはメンテナンス契約対象の消費設備をご利用いただいている場合、基本料金とは別に「設備使用料」935 円 (税込) 計上させていただきます。

●平均的なガス使用量

※下記料金は税込表記です

月間ガス使用量	2021年12月ガス料金<A>	2022年1月ガス料金	前月比
10.0 m ³	7,511 円	7,827 円	+316 円

※従量単価に加減される原料費調整単価及び料金計算途中で計算される小数点以下の四捨五入等により実際の金額とは異なる場合がございますので、予めご了承ください。

●原料価格など指標の推移

	9月	10月	11月
中東LPG指標:CP(ドル/トン)	665	800	870
北米LPG指標:MB(ドル/トン)	673	753	
為替レート:TTS(円/ドル)	111.17	114.11	
フレート(船賃):RIM(ドル/トン)	55.7	59.4	

●計算方法

基準原料価格 **66,000 円/トン**
 FOB 価格 中東合成 CP 835.0 ドル × 70% + 北米 MB820.0 ドル × 30% = 830.5 ドル
 中東合成 CP (10月 CP800 ドル + 11月 CP870 ドル) ÷ 2 = 835.0 ドル
 北米 MB10月 MB753 ドル + 67 ドル (ターミナルフィー) = 820.0 ドル
 フレート価格 (中東フレート 59.4 ドル × 70%) + (北米フレート 108.04 ドル × 30%) + 2 ドル = **76.0 ドル**
 中東フレート (RIM フレート) 59.4 ドル
 北米フレート (RIM フレート) 59.4 × 1.6 倍 + 13 ドル (パナマ運河通行料) = 108.04 ドル
 円換算 10月1日～末日 TTS 平均 **114.11 円/ドル**
 LPG 輸入価格 (FOB 価格 830.5 + フレート価格 76.0) × 114.11 円 = 103,344.715... → 103,400 円/トン
 当月原料価格 103,400 円/トン + 石油石炭税 1,860 円/トン = **105,260 円/トン**
 原料費調整単価 (当月原料価格 105,260 円 - 基準原料価格 66,000 円) ÷ 1,000 ÷ 0.482 = 81.4522...

2022年1月ガス料金の原料費調整単価は1 m³あたり 89.7 円 (税込) です。